

(5) 研究開発分担者 所属：東京都市大学人間科学部
研究開発分担者役職 氏名：教授（テーマリーダー）早坂信哉
分担研究開発課題名（実施内容）：医療資源等の地域解析

研究開発成果の内容

摂食嚥下に関連する問題に対して対応可能な医療資源に関して、医療資源の実数との比較を県ごとに解析する。

研究開発項目の実施状況及びマイルストーンの達成状況

A. 研究目的

摂食嚥下に関連する問題に対して対応可能な医療資源を全国的に、特に都道府県別に比較し、課題を明らかにすることを目的とする。

B. 研究方法

平成26年9月1日より、病院、クリニック、訪問看護ステーションを対象として、摂食嚥下に関連する学会や関連団体等へ摂食嚥下関連医療機関マップへの登録協力を開始し、初年度の調査は平成26年9月1日より平成26年12月31日で区切ったが、本年度の調査は公開したサイトを利用して平成27年9月10日より改めて継続的に行った。調査票の入力（WEB回答）は施設の医師、歯科医師、看護師等によって行われた。悉皆調査を行うことは事実上困難なため、関連学会等のみならず各種メディアを通じて調査協力依頼をかけ、今回の報告では平成28年1月18日現在の集計結果を示す。地図データのマッピングはEsri社のArcGIS Desktop 10.3およびArcGIS Onlineを、地図の解析にはMarketAnalyzer（技研商事インターナショナル株式会社）を使用した。

都道府県別の嚥下訓練施設数を観察したのち、総務省統計局「平成22年国勢調査」の都道府県別、市区町村別人口情報を用いて、各都道府県別、及び市区町村別の65歳以上の人口10万人あたりの施設数を求め、グラフ化した。加えて地図上に色分けしてマッピングして地域差を比較検討した。

さらに、各都道府県別の嚥下に関する訪問診療、嚥下訓練、各種検査の実施割合について算出し、グラフ化して比較した。最後に都道府県別施設類型の状況についてグラフ化した。

なお、当該研究においては地域をつなぐことが目的であり、患者データをとるものではないが、東京医科歯科大学歯学部倫理審査委員会の審査を受けたところ、倫理審査不要との通知を受けた（受付番号1168番）。

C. 研究結果

1. 嚙下訓練施設の立地状況

- ・ 登録施設数は全国で1,076件あり、65歳以上人口10万人あたりの施設数は3.71件である。
- ・ 都道府県別に登録施設数をみると、東京都(165件)が最も多く、次いで神奈川県(89件)、大阪府(58件)、千葉県(55件)、兵庫県(49件)、埼玉県(46件)、福岡県(45件)、愛知県(44件)となっており、都市部、特に関東エリアに集積がみられる。施設数が10件未満の件は14県で、最も少ないのは高知県(4件)であった。
- ・ 都道府県別に65歳以上人口10万人あたりの施設数をみると、福井県(9.59件)が最も多く、次いで鹿児島県(8.47件)、鳥取県(7.92件)、東京都(6.27件)、石川県(5.92件)、佐賀県(5.33件)、島根県(4.93件)、神奈川県(4.91件)となっている。65歳以上人口10万人あたりの施設数が2.0を下回っているのは5県で、最も少ないのは福島県(1.39件)であった。
- ・ なお、市区町村別施設数をみると、鹿児島県鹿児島市(22件)が最も多く、次いで東京都世田谷区(14件)、福井県福井市(12件)、千葉県八千代市(11件)、埼玉県川越市(8件)、東京都大田区(同)、東京都足立区(同)、東京都江戸川区(同)、東京都八王子市(同)、石川県金沢市(同)、茨城県土浦市(7件)、東京都新宿区(同)、東京都豊島区(同)、東京都町田市(同)となっており、特に東京区部及び郊外の都市において集積が目立っている。

図表 1 . 都道府県別 嚙下訓練施設の立地状況

順位	都道府県	施設数(件)	65歳以上人口 10万人あたり 施設数(件)
1	東京都	165	6.27
2	神奈川県	89	4.91
3	大阪府	58	2.96
4	千葉県	55	4.19
5	兵庫県	49	3.86
6	埼玉県	46	3.13
7	福岡県	45	4.04
8	愛知県	44	2.96
9	鹿児島県	37	8.47
10	北海道	33	2.47
11	広島県	30	4.56
12	京都府	27	4.47
13	長野県	20	3.51
14	福井県	19	9.59
15	静岡県	19	2.15
16	熊本県	19	4.18
17	新潟県	17	2.77
18	岡山県	17	3.54
19	宮城県	16	3.10
20	茨城県	16	2.42
21	石川県	16	5.92
22	群馬県	13	2.76
23	岐阜県	13	2.60
24	三重県	13	2.96
25	滋賀県	13	4.50
26	宮崎県	13	4.50
27	鳥取県	12	7.92
28	長崎県	12	3.44
29	佐賀県	11	5.33
30	和歌山県	10	3.78
31	島根県	10	4.93
32	徳島県	10	4.83
33	愛媛県	10	2.73
34	岩手県	9	2.52
35	栃木県	9	2.05
36	秋田県	8	2.51
37	山梨県	8	3.78
38	山口県	8	2.04
39	大分県	8	2.58
40	沖縄県	8	3.42
41	福島県	7	1.39
42	香川県	7	2.83
43	青森県	6	1.74
44	富山県	6	2.13
45	奈良県	6	1.80
46	山形県	5	1.56
47	高知県	4	1.89
	合計	1,076	3.71

順位	都道府県	施設数(件)	65歳以上人口 10万人あたり 施設数(件)
1	福井県	19	9.59
2	鹿児島県	37	8.47
3	鳥取県	12	7.92
4	東京都	165	6.27
5	石川県	16	5.92
6	佐賀県	11	5.33
7	島根県	10	4.93
8	神奈川県	89	4.91
9	徳島県	10	4.83
10	広島県	30	4.56
11	宮崎県	13	4.50
12	滋賀県	13	4.50
13	京都府	27	4.47
14	千葉県	55	4.19
15	熊本県	19	4.18
16	福岡県	45	4.04
17	兵庫県	49	3.86
18	山梨県	8	3.78
19	和歌山県	10	3.78
20	岡山県	17	3.54
21	長野県	20	3.51
22	長崎県	12	3.44
23	沖縄県	8	3.42
24	埼玉県	46	3.13
25	宮城県	16	3.10
26	三重県	13	2.96
27	大阪府	58	2.96
28	愛知県	44	2.96
29	香川県	7	2.83
30	新潟県	17	2.77
31	群馬県	13	2.76
32	愛媛県	10	2.73
33	岐阜県	13	2.60
34	大分県	8	2.58
35	岩手県	9	2.52
36	秋田県	8	2.51
37	北海道	33	2.47
38	茨城県	16	2.42
39	静岡県	19	2.15
40	富山県	6	2.13
41	栃木県	9	2.05
42	山口県	8	2.04
43	高知県	4	1.89
44	奈良県	6	1.80
45	青森県	6	1.74
46	山形県	5	1.56
47	福島県	7	1.39
	合計	1,076	3.71

2. 各都道府県の状況

(1) 北海道

- ・ 登録施設数は33件（全国10位）、65歳人口10万人あたり2.47件である。
- ・ 施設種別では、病院17件、診療所1件、歯科診療所12件、介護老人保健施設2件、その他1件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡の実施率は全国平均を下回っている状況である。

(2) 青森県

- ・ 登録施設数は6件、65歳人口10万人あたり1.74件である。
- ・ 施設種別では、病院3件、診療所1件、歯科診療所1件、介護老人保健施設1件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は4項目全て50.0%を超えている。特に嚥下訓練は6施設全てで対応可能である。

(3) 岩手県

- ・ 登録施設数は9件、65歳人口10万人あたり2.52件である。
- ・ 施設種別では、病院4件、診療所1件、歯科診療所4件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡の実施率は全国平均を下回っている状況である。

(4) 宮城県

- ・ 登録施設数は16件、65歳人口10万人あたり3.10件である。
- ・ 施設種別では、病院5件、歯科診療所10件、訪問看護ステーション1件である。
- ・ 訪問診療の実施率は全国平均を上回っている。

(5) 秋田県

- ・ 登録施設数は8件、65歳人口10万人あたり2.51件である。
- ・ 施設種別では、歯科診療所7件、訪問看護ステーション1件である。病院はない。
- ・ 8施設のうち、訪問診療は7件、嚥下訓練は8件で実施しているが、嚥下内視鏡の対応は1件のみ、嚥下造影検査は対応施設がない。

(6) 山形県

- ・ 登録施設数は5件、65歳人口10万人あたり1.56件である。
- ・ 施設種別では、病院4件、歯科診療所1件である。
- ・ 5施設のうち、訪問診療は3件、嚥下訓練は5件、嚥下内視鏡と嚥下造影検査は4件で対応している。

(7) 福島県

- ・ 登録施設数は7件、65歳人口10万人あたり1.39件である。
- ・ 施設種別では、病院4件、歯科診療所3件である。
- ・ 7施設のうち、訪問診療は4件、嚥下訓練は6件、嚥下内視鏡は5件、嚥下造影検査は4件が対応

している。

(8) 茨城県

- ・ 登録施設数は16件、65歳人口10万人あたり2.42件である。
- ・ 施設種別では、病院5件、診療所1件、歯科診療所9件、訪問看護ステーション1件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練の実施率は8割を超えているが、嚥下内視鏡の対応可能件数は2件のみである。

(9) 栃木県

- ・ 登録施設数は9件、65歳人口10万人あたり2.05件である。
- ・ 施設種別では、病院5件、歯科診療所4件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は4項目全て50.0%を超えている。

(10) 群馬県

- ・ 登録施設数は13件、65歳人口10万人あたり2.76件である。
- ・ 施設種別では、病院5件、診療所1件、歯科診療所7件である。
- ・ 嚥下内視鏡の対応可能施設は3件(実施率23.1%)のみである。

(11) 埼玉県

- ・ 登録施設数は46件(全国6位)、65歳人口10万人あたり3.13件である。
- ・ 施設種別では、病院12件、診療所3件、歯科診療所27件(全国4位)、介護老人保健施設1件、訪問看護ステーション1件、その他2件である。
- ・ 46施設のうち、嚥下造影検査の対応可能施設は8件(実施率17.4%)で、他の3項目と比べて低くなっている。

(12) 千葉県

- ・ 登録施設数は55件(全国4位)、65歳人口10万人あたり4.19件である。
- ・ 施設種別では、病院22件、診療所2件、歯科診療所27件、訪問看護ステーション4件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の対応可能件数では、全ての項目において、上位5位以内に入っている。

(13) 東京都

- ・ 登録施設数は165件(全国1位)、65歳人口10万人あたり6.27件(全国4位)である。
- ・ 施設種別では、病院36件、診療所18件、歯科診療所70件、介護老人保健施設6件、訪問看護ステーション29件、その他6件である。介護老人保健施設を除く全ての施設で全国1位である。
- ・ 嚥下造影検査の実施率は18.8%で他の3項目と比較して低くなっている。

(14) 神奈川県

- ・ 登録施設数は89件(全国2位)、65歳人口10万人あたり4.91件(全国8位)である。
- ・ 施設種別では、病院23件、診療所8件、歯科診療所33件、介護老人保健施設9件(全国1位)、訪問看護ステーション12件、その他4件である。

- ・ 嚥下内視鏡、嚥下造影検査について、対応施設件数は多いものの、実施率では全国平均をやや下回っている。

(15) 新潟県

- ・ 登録施設数は17件、65歳人口10万人あたり2.77件である。
- ・ 施設種別では、病院5件、診療所1件、歯科診療所10件、訪問看護ステーション1件である。
- ・ 嚥下造影検査の実施率は、全国平均をやや下回っている状況である。

(16) 富山県

- ・ 登録施設数は6件、65歳人口10万人あたり2.13件である。
- ・ 施設種別では、病院4件、診療所1件、歯科診療所1件である。
- ・ 6施設のうち、訪問診療5件、嚥下訓練5件、嚥下内視鏡6件、嚥下造影検査4件で対応しており、実施率は高くなっている。

(17) 石川県

- ・ 登録施設数は16件、65歳人口10万人あたり5.92件（全国5位）である。
- ・ 施設種別では、病院11件、歯科診療所2件、介護老人保健施設1件、その他2件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は4項目全て50.0%を超えている。特に嚥下造影検査の実施率は68.8%で高くなっている。

(18) 福井県

- ・ 登録施設数は19件、65歳人口10万人あたり9.59件（全国1位）である。
- ・ 施設種別では、病院2件、歯科診療所14件、介護老人保健施設1件、その他2件である。
- ・ 嚥下造影検査の実施率は15.8%で全国的にみて低い状況である。

(19) 山梨県

- ・ 登録施設数は8件、65歳人口10万人あたり3.78件である。
- ・ 施設種別では、病院1件、歯科診療所6件、その他1件である。
- ・ 訪問診療の対応可能件数が2件、嚥下造影検査では1件で全国的にみて低い状況である。

(20) 長野県

- ・ 登録施設数は20件、65歳人口10万人あたり3.51件である。
- ・ 施設種別では、病院13件、診療所1件、歯科診療所4件、介護老人保健施設2件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は4項目全て50.0%を超えている。特に嚥下造影検査の実施率は60.0%で高くなっている。

(21) 岐阜県

- ・ 登録施設数は13件、65歳人口10万人あたり2.60件である。
- ・ 施設種別では、病院7件、歯科診療所5件、その他1件である。
- ・ 嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率では、全国平均を上回っている状況である。

(22) 静岡県

- ・ 登録施設数は19件、65歳人口10万人あたり2.15件である。
- ・ 施設種別では、病院12件、診療所2件、歯科診療所5件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は4項目全て50.0%を超えているが、訪問診療の実施率は52.6%で全国平均を下回っている状況である。

(23) 愛知県

- ・ 登録施設数は44件(全国8位)、65歳人口10万人あたり2.96件である。
- ・ 施設種別では、病院22件、診療所2件、歯科診療所15件、介護老人保健施設2件、訪問看護ステーション1件、その他2件である。
- ・ 訪問診療の実施率は56.8%で全国平均を下回っている状況である。

(24) 三重県

- ・ 登録施設数は13件、65歳人口10万人あたり2.96件である。
- ・ 施設種別では、病院7件、診療所1件、歯科診療所3件、その他2件である。
- ・ 嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は6割を超えており、全国平均を上回っている状況である。

(25) 滋賀県

- ・ 登録施設数は13件、65歳人口10万人あたり4.50件である。
- ・ 施設種別では、病院7件、診療所1件、歯科診療所4件、訪問看護ステーション1件、
- ・ 訪問診療、嚥下訓練の実施率が全国平均を下回っている状況である。

(26) 京都府

- ・ 登録施設数は27件、65歳人口10万人あたり4.47件である。
- ・ 施設種別では、病院11件、歯科診療所12件、介護老人保健施設3件、その他1件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率はいずれも全国平均を下回っている状況である。

(27) 大阪府

- ・ 登録施設数は58件(全国3位)、65歳人口10万人あたり2.96件である。
- ・ 施設種別では、病院16件、診療所2件、歯科診療所37件、介護老人保健施設1件、訪問看護ステーション1件、その他1件である。
- ・ 嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は、全国平均を下回っている状況である。

(28) 兵庫県

- ・ 登録施設数は49件(全国5位)、65歳人口10万人あたり3.86件である。
- ・ 施設種別では、病院14件、診療所2件、歯科診療所24件、介護老人保健施設4件、訪問看護ステーション1件、その他4件である。
- ・ 訪問診療、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は、全国平均を下回っている状況である。

(29) 奈良県

- ・ 登録施設数は6件、65歳人口10万人あたり1.80件である。
- ・ 施設種別では、病院3件、診療所1件、歯科診療所1件、介護老人保健施設1件である。
- ・ 6施設のうち、嚥下訓練については全ての施設で対応可能であるが、訪問診療の実施率が50.0%で全国平均を下回っている状況である。

(30) 和歌山県

- ・ 登録施設数は10件、65歳人口10万人あたり3.78件である。
- ・ 施設種別では、病院5件、診療所2件、歯科診療所1件、訪問看護ステーション2件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査全ての実施率は6割を超えており、特に嚥下訓練は全ての施設で対応可能である。

(31) 鳥取県

- ・ 登録施設数は12件、65歳人口10万人あたり7.92件（全国3位）である。
- ・ 施設種別では、病院8件、歯科診療所2件、介護老人保健施設1件、その他1件である。
- ・ 訪問診療、嚥下内視鏡の実施率は、全国平均を下回っている状況である。

(32) 島根県

- ・ 登録施設数は10件、65歳人口10万人あたり4.93件（全国7位）である。
- ・ 施設種別では、病院6件、歯科診療所4件である。
- ・ 10施設のうち、訪問診療の対応可能施設は6件、嚥下訓練は9件、嚥下内視鏡は4件、嚥下造影検査は5件である。

(33) 岡山県

- ・ 登録施設数は17件、65歳人口10万人あたり3.54件である。
- ・ 施設種別では、病院10件、診療所1件、歯科診療所4件、その他2件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査全ての項目において、実施率は全国平均を上回っている状況である。

(34) 広島県

- ・ 登録施設数は30件、65歳人口10万人あたり4.56件（全国10位）である。
- ・ 施設種別では、病院10件、診療所1件、歯科診療所19件である。
- ・ 施設数は多いが、訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は全国平均をやや下回っている状況である。

(35) 山口県

- ・ 登録施設数は8件、65歳人口10万人あたり2.04件である。
- ・ 施設種別では、病院3件、診療所2件、歯科診療所3件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下造影検査の実施率は全国平均をやや下回っている状況である。

(36) 徳島県

- ・ 登録施設数は10件、65歳人口10万人あたり4.83件（全国9位）である。
- ・ 施設種別では、病院7件、診療所3件である。
- ・ 嚥下訓練と嚥下造影検査の実施率は全国平均と比べて高くなっている。嚥下訓練は全ての施設で対応している。

(37) 香川県

- ・ 登録施設数は7件、65歳人口10万人あたり2.83件である。
- ・ 施設種別では、病院2件、歯科診療所5件である。
- ・ 7施設のうち、嚥下内視鏡、嚥下造影検査については、それぞれ1件しか対応していない。

(38) 愛媛県

- ・ 登録施設数は10件、65歳人口10万人あたり2.73件である。
- ・ 施設種別では、病院5件、診療所1件、歯科診療所4件である。
- ・ 訪問診療、嚥下造影検査の実施率は全国平均をやや上回っている状況である。

(39) 高知県

- ・ 登録施設数は4件、65歳人口10万人あたり1.89件である。施設数は全国で最も少ない。
- ・ 施設種別では、病院2件、歯科診療所2件である。
- ・ 4施設のうち、全ての施設が訪問診療と嚥下訓練に対応可能、嚥下内視鏡については3件、嚥下造影検査については2件に対応可能である。

(40) 福岡県

- ・ 登録施設数は45件（全国7位）、65歳人口10万人あたり4.04件である。
- ・ 施設種別では、病院19件、診療所1件、歯科診療所24件、介護老人保健施設1件である。
- ・ 嚥下訓練については45件全ての施設で対応可能である。

(41) 佐賀県

- ・ 登録施設数は11件、65歳人口10万人あたり5.33件（全国6位）である。
- ・ 施設種別では、病院6件、診療所1件、歯科診療所2件、介護老人保健施設1件、その他1件である。
- ・ 11施設のうち、訪問診療の対応可能施設は2施設（実施率18.2%）で、全国平均を下回っている。

(42) 長崎県

- ・ 登録施設数は12件、65歳人口10万人あたり3.44件である。
- ・ 施設種別では、病院6件、診療所1件、歯科診療所4件、介護老人保健施設1件である。
- ・ 嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は全国平均を上回っているが、訪問診療は下回っている。

(43) 熊本県

- ・ 登録施設数は19件、65歳人口10万人あたり4.18件である。
- ・ 施設種別では、病院12件、歯科診療所6件、その他1件である。
- ・ 嚥下訓練、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は全国平均を上回っているが、訪問診療は下回っている。

(44) 大分県

- ・ 登録施設数は8件、65歳人口10万人あたり2.58件である。
- ・ 施設種別では、病院2件、診療所2件、歯科診療所4件である。
- ・ 8施設のうち訪問診療の対応可能施設は7件である。

(45) 宮崎県

- ・ 登録施設数は13件、65歳人口10万人あたり4.50件である。
- ・ 施設種別では、病院5件、診療所1件、歯科診療所6件、訪問看護ステーション1件である。
- ・ 13施設のうち、嚥下訓練には全ての施設が対応可能である。訪問診療、嚥下内視鏡、嚥下造影検査の実施率は全国平均を下回っている。

(46) 鹿児島県

- ・ 登録施設数は37件（全国9位）、65歳人口10万人あたり8.47件（全国2位）である。
- ・ 施設種別では、病院16件、診療所4件、歯科診療所15件、介護老人保健施設1件、訪問看護ステーション1件である。
- ・ 訪問診療、嚥下訓練、嚥下内視鏡の実施率は全国平均をやや下回っている状況である。

(47) 沖縄県

- ・ 登録施設数は8件、65歳人口10万人あたり3.42件である。
- ・ 施設種別では、病院3件、診療所1件、歯科診療所2件である。
- ・ 8施設のうち訪問診療の対応可能施設は2件、嚥下造影検査の対応可能施設は1件で、全国平均を下回っている状況である。

D 考察

1. 施設類型の状況

- ・ 登録施設(1,076件)の施設類型をみると、「歯科診療所」が465件で最も多く、全体の43.2%である。次いで「病院」(407件・37.8%)であり、歯科診療所と病院をあわせて81.0%を占めている。次いで「診療所」(71件・6.6%)、「訪問看護ステーション」(58件・5.4%)、「介護老人保健施設」(39件・3.6%)、「その他」(36件・3.3%)の順となっている。「その他」の内容として、保健センター、特別養護老人ホーム、大学・専門学校等がみられた。
- ・ 都道府県別に「病院」の件数をみると、20件以上立地している都道府県のうち、東京都(36件)が最も多く、次いで神奈川県(23件)、千葉県(22件)、愛知県(同)の順となっている。嚥下訓練に対応している病院が立地していないのは秋田県のみである。
- ・ 都道府県別に「診療所」の件数をみると、東京都(18件)が最も多く、次いで神奈川県(8件)、鹿児島県(4件)、埼玉県(3件)、徳島県(同)である。2件立地しているのが8都道府県、1件のみ立地しているのが19都道府県、嚥下訓練に対応している診療所が立地していないのは15都道府県である。
- ・ 都道府県別に「歯科診療所」の件数をみると、20件以上立地している都道府県のうち、東京都(70件)が最も多く、次いで大阪府(37件)、神奈川県(33件)、埼玉県(27件)、千葉県(同)、兵庫県(24件)、福岡県(同)の順となっている。嚥下訓練に対応している歯科診療所が立地していないのは徳島県のみである。
- ・ 「介護老人保健施設」の件数では、神奈川県(9件)、東京都(6件)、兵庫県(4件)、京都府(3件)、北海道(2件)、長野県(同)、愛知県(同)である。1件のみ立地しているのが11都道府県、嚥下訓練に対応している介護老人保健施設が立地していないのは29都道府県である。
- ・ 「訪問看護ステーション」の件数では、東京都(29件)、神奈川県(12件)、千葉県(4件)、和歌山県(2件)、1件のみ立地しているのが11都道府県である。嚥下訓練に対応している訪問看護ステーションが立地していないのは32都道府県である。
- ・ 5つの施設種別の件数をみると、「介護老人保健施設」を除く4施設で東京都が1位となっており、「介護老人保健施設」は神奈川県が1位となっている。

2. 嚥下訓練の状況

<訪問診療>

- ・ 「訪問診療」については、全国1,076件の施設のうち、対応可能施設は688件(63.9%)となっている。
- ・ 都道府県別に対応施設件数をみると、対応可能施設が20件以上ある都道府県のうち東京都(125件)が最も多く、次いで神奈川県(64件)、大阪府(46件)、千葉県(39件)、埼玉県(38件)、福岡県(27件)、愛知県(25件)、兵庫県(同)となっている。最も少なかったのは山梨県、佐賀県、沖縄県で各2件であった。
- ・ 都道府県別に訪問診療の実施率をみると、高知県が100.0%で最も高く、次いで秋田県(87.5%)、茨城県(同)、大分県(同)、富山県(83.3%)、埼玉県(82.6%)、愛媛県(80.0%)である。最も低かったのは佐賀県で18.2%であった。

<嚙下訓練>

- ・ 「嚙下訓練」については、全国 1,076 件の施設のうち、対応可能施設は 968 件（90.0%）となっている。また対応可能ではないが「他施設を紹介できる」という施設が 40 件あった。
- ・ 都道府県別に対応施設件数をみると、東京都（147 件）が最も多く、次いで神奈川県（83 件）、大阪府（54 件）、千葉県（51 件）、兵庫県（45 件）、福岡県（同）、埼玉県（42 件）、愛知県（40 件）の順となっている。最も少なかったのは高知県の 4 件であった。
- ・ 都道府県別に嚙下訓練の実施率をみると、最も低い山口県においても 62.5%となっており、全ての都道府県において 6 割を超えている。青森県、秋田県、山形県、栃木県、山梨県、奈良県、和歌山県、岡山県、徳島県、高知県、福岡県、宮崎県の 12 県においては 100.0%となっている。また 17 都道府県において 90%台となっている。

<嚙下内視鏡検査(VE)>

- ・ 「嚙下内視鏡検査」については、全国 1,076 件の施設のうち、対応可能施設は 548 件（50.9%）となっている。
- ・ 都道府県別に対応施設件数をみると、東京都（86 件）が最も多く、次いで神奈川県（42 件）、千葉県（32 件）、埼玉県（29 件）、大阪府（25 件）、愛知県（同）、兵庫県（24 件）、福岡県（23 件）となっている。最も少なかったのは秋田県、香川県で 1 件であった。
- ・ 都道府県別に嚙下内視鏡検査の実施率をみると、富山県が 100.0%で最も高く、次いで石川県（81.3%）、山形県（80.0%）となっている。また 30 都道府県において実施率が 50%を超えている。実施率が最も低いのは秋田県と茨城県で 12.5%であった。

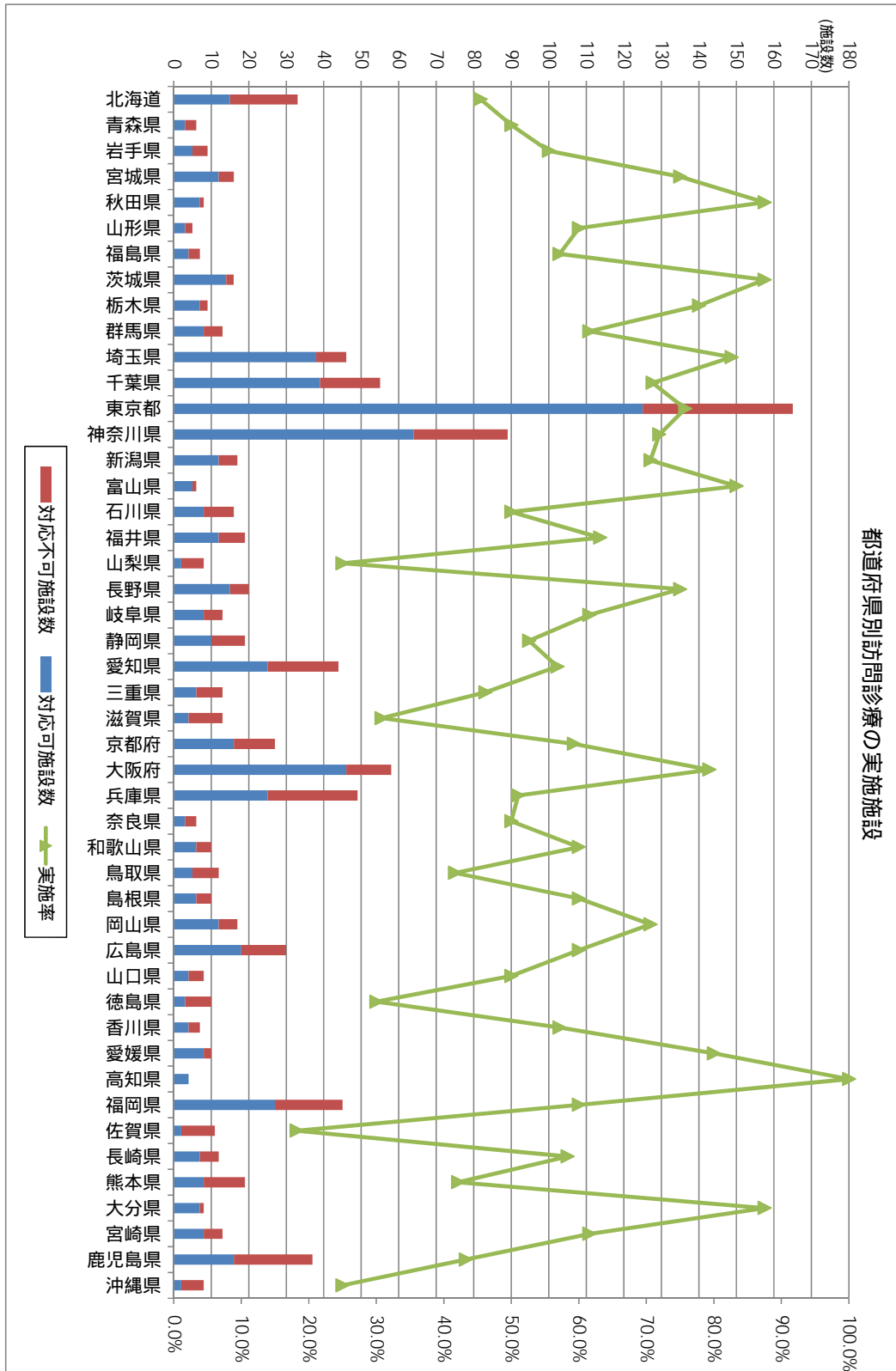
<嚙下造影検査(VF) >

- ・ 「嚙下造影検査」については、全国 1,076 件の施設のうち、対応可能施設は 352 件（32.7%）となっている。
- ・ 都道府県別に対応施設件数をみると、東京都（31 件）が最も多く、神奈川県（23 件）、愛知県（17 件）、福岡県（同）、千葉県（16 件）の順となっている。秋田県は県内に対応施設がない。また山梨県、香川県、沖縄県は各 1 件であった。
- ・ 都道府県別に嚙下造影検査の実施率をみると、16 都道府県において実施率が 50.0%を超えている。最も高いのは山形県（80.0%）であり、次いで徳島県（70.0%）、三重県（69.2%）、石川県（68.8%）、青森県（66.7%）、富山県（同）、熊本県（63.2%）、長野県（60.0%）、和歌山県（同）の順となっている。
- ・ 「訪問診療」、「嚙下訓練」、「嚙下内視鏡検査」、「嚙下造影検査」の対応可能件数をみると、いずれも東京都が最も多く、次いで神奈川県の順となっている。また千葉県は 4 項目全てで上位 5 位以内に入っている。大阪府は「嚙下造影検査」を除く 3 項目で上位 5 位以内に入っている。

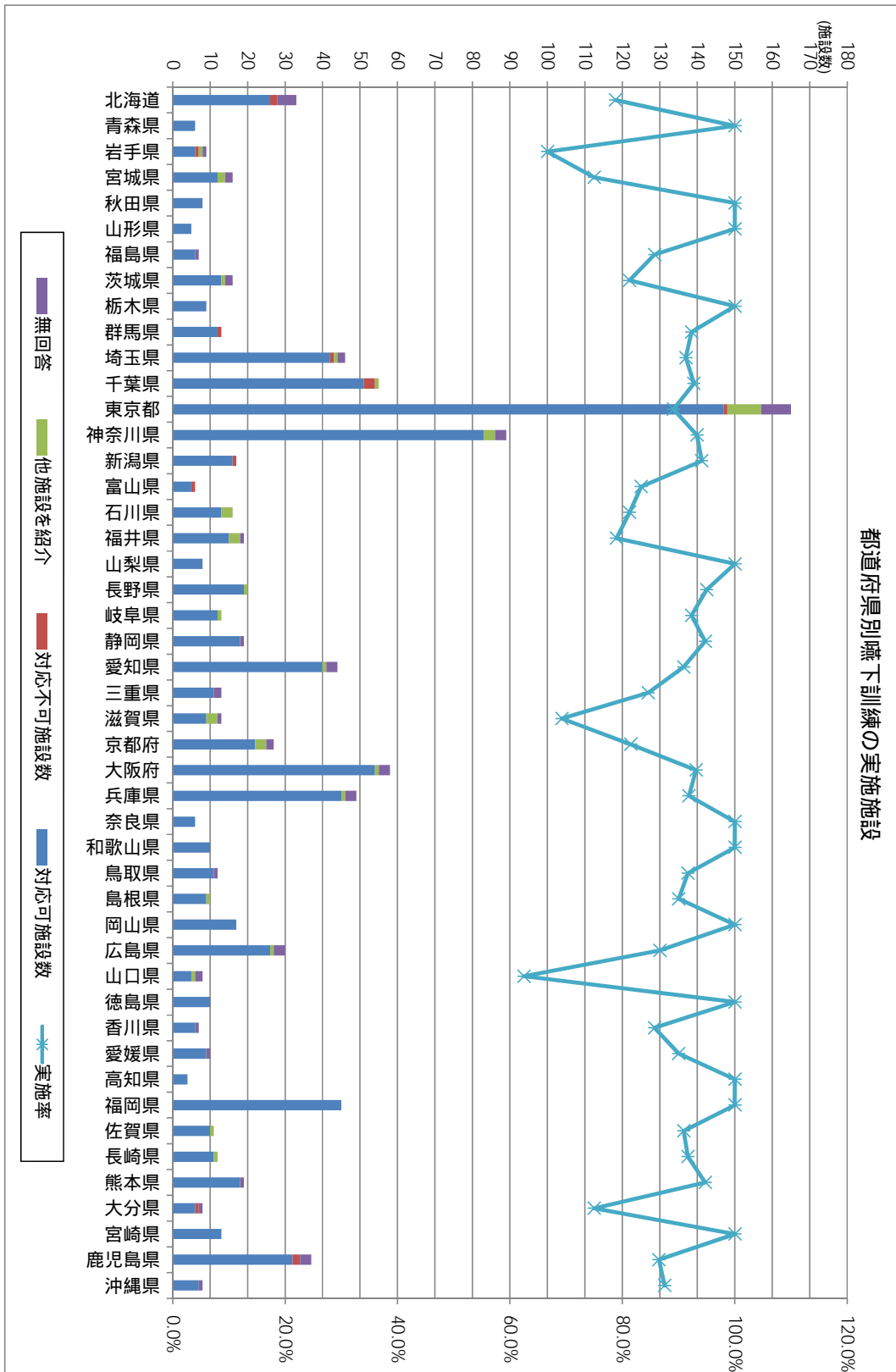
図表2. 都道府県別 嚙下訓練の状況

No	都道府県名	合計	訪問診療		嚙下訓練		嚙下内視鏡		嚙下造影検査	
			対応可施設数	実施率	対応可施設数	実施率	対応可施設数	実施率	対応可施設数	実施率
1	北海道	33	15	45.5%	26	78.8%	15	45.5%	12	36.4%
2	青森県	6	3	50.0%	6	100.0%	4	66.7%	4	66.7%
3	岩手県	9	5	55.6%	6	66.7%	3	33.3%	3	33.3%
4	宮城県	16	12	75.0%	12	75.0%	8	50.0%	5	31.3%
5	秋田県	8	7	87.5%	8	100.0%	1	12.5%		0.0%
6	山形県	5	3	60.0%	5	100.0%	4	80.0%	4	80.0%
7	福島県	7	4	57.1%	6	85.7%	5	71.4%	4	57.1%
8	茨城県	16	14	87.5%	13	81.3%	2	12.5%	4	25.0%
9	栃木県	9	7	77.8%	9	100.0%	7	77.8%	5	55.6%
10	群馬県	13	8	61.5%	12	92.3%	3	23.1%	5	38.5%
11	埼玉県	46	38	82.6%	42	91.3%	29	63.0%	8	17.4%
12	千葉県	55	39	70.9%	51	92.7%	32	58.2%	16	29.1%
13	東京都	165	125	75.8%	147	89.1%	86	52.1%	31	18.8%
14	神奈川県	89	64	71.9%	83	93.3%	42	47.2%	23	25.8%
15	新潟県	17	12	70.6%	16	94.1%	13	76.5%	5	29.4%
16	富山県	6	5	83.3%	5	83.3%	6	100.0%	4	66.7%
17	石川県	16	8	50.0%	13	81.3%	13	81.3%	11	68.8%
18	福井県	19	12	63.2%	15	78.9%	7	36.8%	3	15.8%
19	山梨県	8	2	25.0%	8	100.0%	4	50.0%	1	12.5%
20	長野県	20	15	75.0%	19	95.0%	11	55.0%	12	60.0%
21	岐阜県	13	8	61.5%	12	92.3%	8	61.5%	6	46.2%
22	静岡県	19	10	52.6%	18	94.7%	12	63.2%	11	57.9%
23	愛知県	44	25	56.8%	40	90.9%	25	56.8%	17	38.6%
24	三重県	13	6	46.2%	11	84.6%	8	61.5%	9	69.2%
25	滋賀県	13	4	30.8%	9	69.2%	7	53.8%	6	46.2%
26	京都府	27	16	59.3%	22	81.5%	8	29.6%	5	18.5%
27	大阪府	58	46	79.3%	54	93.1%	25	43.1%	13	22.4%
28	兵庫県	49	25	51.0%	45	91.8%	24	49.0%	12	24.5%
29	奈良県	6	3	50.0%	6	100.0%	3	50.0%	2	33.3%
30	和歌山県	10	6	60.0%	10	100.0%	6	60.0%	6	60.0%
31	鳥取県	12	5	41.7%	11	91.7%	4	33.3%	6	50.0%
32	島根県	10	6	60.0%	9	90.0%	4	40.0%	5	50.0%
33	岡山県	17	12	70.6%	17	100.0%	9	52.9%	10	58.8%
34	広島県	30	18	60.0%	26	86.7%	13	43.3%	9	30.0%
35	山口県	8	4	50.0%	5	62.5%	6	75.0%	2	25.0%
36	徳島県	10	3	30.0%	10	100.0%	5	50.0%	7	70.0%
37	香川県	7	4	57.1%	6	85.7%	1	14.3%	1	14.3%
38	愛媛県	10	8	80.0%	9	90.0%	5	50.0%	4	40.0%
39	高知県	4	4	100.0%	4	100.0%	3	75.0%	2	50.0%
40	福岡県	45	27	60.0%	45	100.0%	23	51.1%	17	37.8%
41	佐賀県	11	2	18.2%	10	90.9%	4	36.4%	5	45.5%
42	長崎県	12	7	58.3%	11	91.7%	8	66.7%	5	41.7%
43	熊本県	19	8	42.1%	18	94.7%	12	63.2%	12	63.2%
44	大分県	8	7	87.5%	6	75.0%	4	50.0%	3	37.5%
45	宮崎県	13	8	61.5%	13	100.0%	4	30.8%	3	23.1%
46	鹿児島県	37	16	43.2%	32	86.5%	16	43.2%	13	35.1%
47	沖縄県	8	2	25.0%	7	87.5%	6	75.0%	1	12.5%
	合計	1,076	688	63.9%	968	90.0%	548	50.9%	352	32.7%

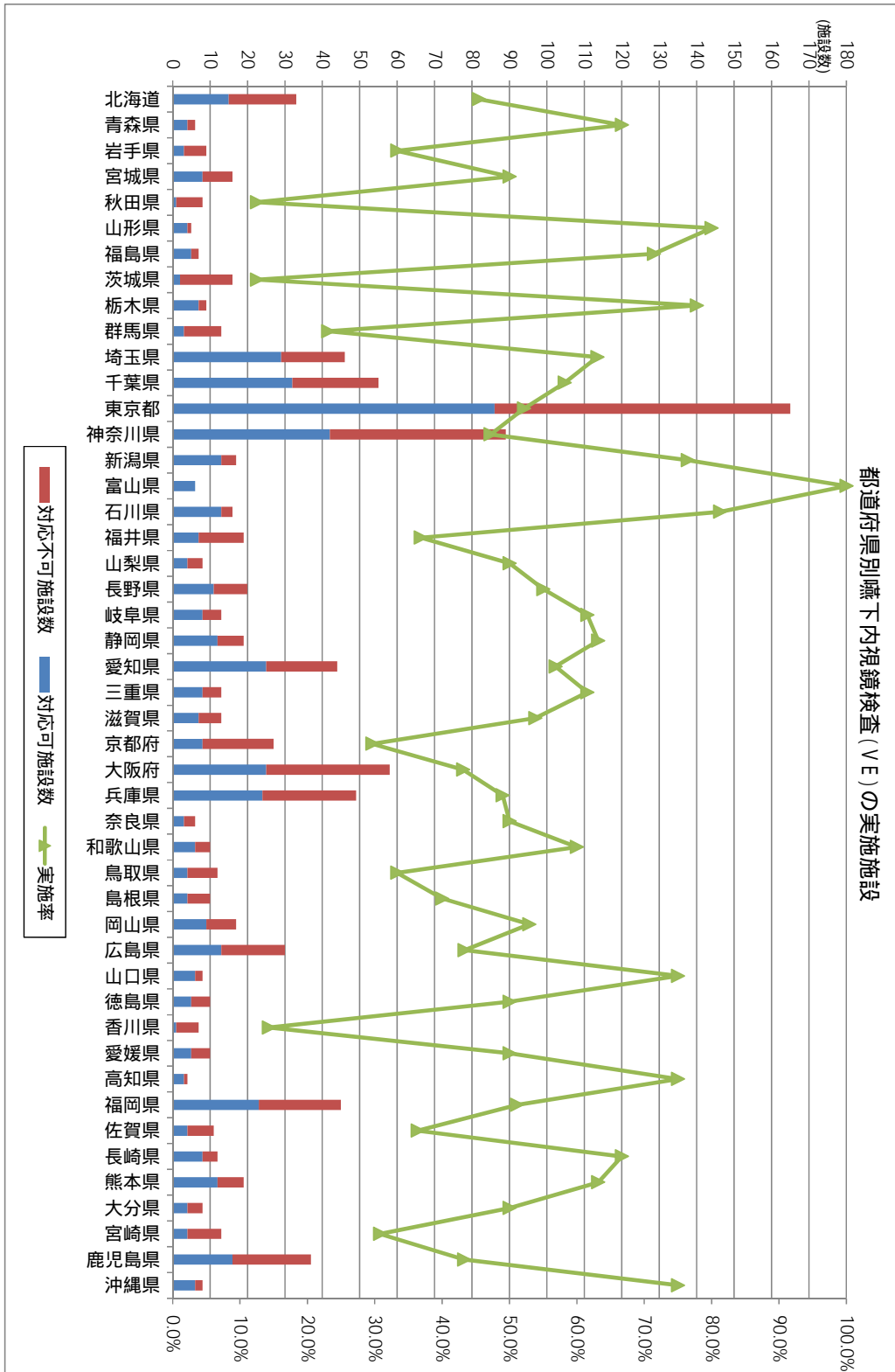
図表3．都道府県別 訪問診療の実施施設



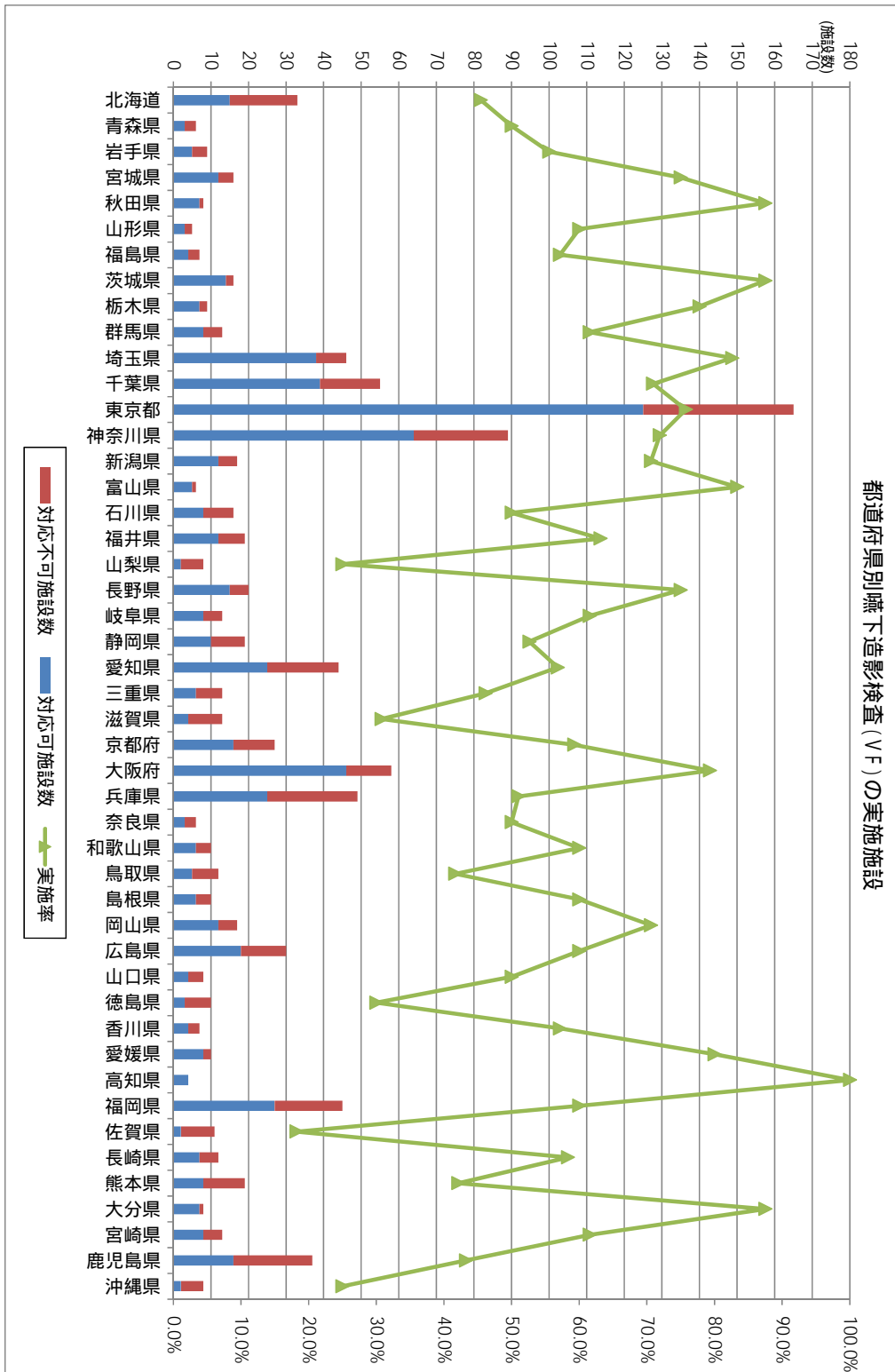
図表4．都道府県別 嚙下訓練の実施施設



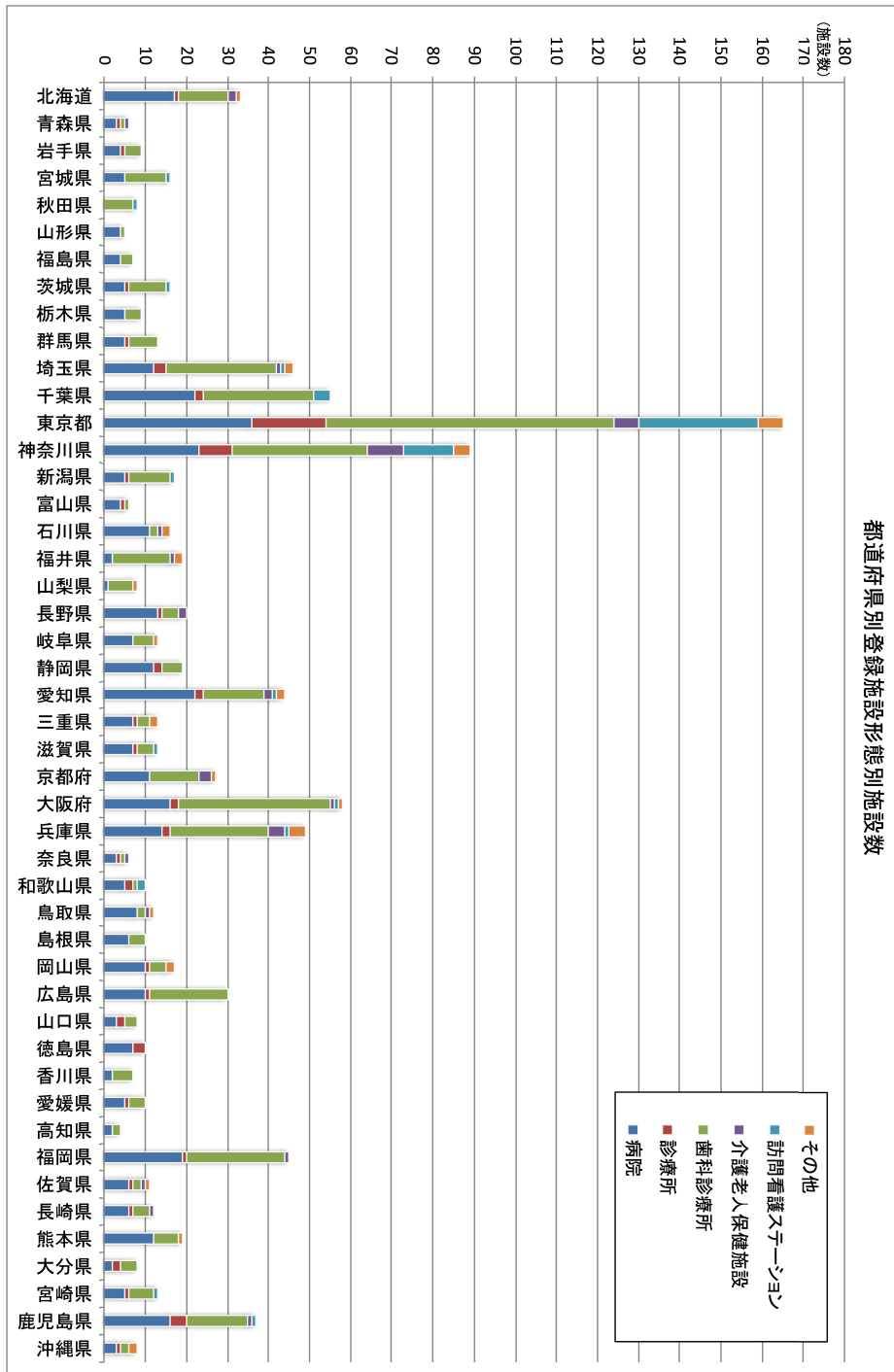
図表5．都道府県別 嚙下内視鏡検査の実施施設



図表6．都道府県別 嚙下造影検査の実施施設



図表7. 都道府県別 施設類型の状況



E 結論

マップを利用することで摂食嚥下関連の医療資源の所在を明らかにするだけでなく、地域ごとの課題を見える化することができた。嚥下に関する医療施設分布の偏在や、各種訓練の実施、検査の実施割合の地域格差があることが明らかになった。また、マップの情報は各種メディアを通じて幅広く周知することができた。

F 健康危険情報

現在のところ報告すべき情報はない。